

安全データシート(SDS 番号:SDSHB0001)
輸送用スワブキット・ウイルス不活化 保存/輸送用試薬・唾液採取キット ITM 付き

初回作成日:2020年5月15日
前回改定日:2023年4月25日
最新改定日:2024年4月15日
版番号:第7.1版

1. 化学物質等及び会社情報

1.1 化学物質等の名称

製品名	輸送用スワブキット(Sample Preservative Fluid): BSC82X1-A1(1,000本入り)、BSC82X1-A1-1(100本入り) ウイルス不活化 保存/輸送用試薬(Inactive Virus Medium): BSC82N1(1.8mLx100本)、BSC82L1(1,000mL/本)、BSC82M1(200mL/本) 唾液採取キット ITM 付き(Sample Preservative Fluid with Saliva Collector): BSC91X1-B20(1,000本入り)、BSC91X1-B(50本入り)、
-----	--

1.2 化学物質等の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途	試験研究用(ウイルスサンプル中の核酸の保存)
使用上の制限	専門ユーザー向け

1.3 提供者の詳細

製造元の会社情報	Hangzhou Bioer Technology Co., Ltd B 1192 Bin' An Rd, Binjiang District, Hangzhou, Zhejiang Province, China
供給者の会社情報	日本ジェネティクス株式会社 〒112-0004 東京都文京区後楽一丁目4番14号 後楽森ビル18階 電話番号:03-3813-0961 ファックス番号:03-3813-0962
供給者の緊急時連絡先	電話番号:03-3813-0961 (祝祭日を除く、月曜日から金曜日の午前9時から午後5時30分) Eメール:info@genetics-n.co.jp

2. 危険有害性の要約

2.1 物質または混合物の分類

EU CLP 規則 (EC) No 1272/2008 による分類

急性毒性(経口)	危険有害性区分:4
急性毒性(経皮)	危険有害性区分:4
急性毒性(吸入)	危険有害性区分:4
皮膚腐食性/刺激性	危険有害性区分:1C
眼に対する重篤な損傷性/ 眼刺激性	危険有害性区分:1
長期間(慢性)水生環境有害性	危険有害性区分:3

2.2 注意書きを含むラベル要素

EU CLP 規則 (EC) No 1272/2008 によるラベル要素

絵表示又はシンボル	
注意喚起語	危険

安全データシート(SDS 番号:SDSHB0001)

輸送用スワブキット・ウイルス不活化 保存/輸送用試薬・唾液採取キット ITM 付き

危険有害性情報	
健康有害性	H302: 飲み込むと有害
	H312: 皮膚に接触すると有害
	H332: 吸入すると有害
	H314: 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
	H318: 重篤な眼の損傷
	H412: 長期継続的影響により水生生物に有害
注意書き	
安全対策	P260: 粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
	P261: 粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
	P264: 取扱後は、手をよく洗うこと。
	P270: この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
	P271: 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
	P273: 環境への放出を避けること。
	P280: 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
応急措置	P310: 直ちに医師に連絡すること。
	P312: 気分が悪い時は医師に連絡すること。
	P321: 特別な処置が必要である。
	P330: 口をすすぐこと。
	P363: 汚染された衣服を再使用する場合には洗濯をすること。
	P301+P312: 飲み込んだ場合: 気分が悪い時は医師に連絡すること。
	P302+P352: 皮膚に付着した場合: 多量の水で洗うこと。
	P304+P340: 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
	P362+P364: 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
	P301+P330+P331: 飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
	P303+P361+P353: 皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水【又はシャワー】で洗うこと。
	P305+P351+P338: 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
	P405: 施錠して保管すること。
保管	P405: 施錠して保管すること。
廃棄	P501: 内容物/容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、そこに業務を委託して処理する。

2.3 他の危険有害性
特になし

安全データシート(SDS 番号:SDSHB0001)

輸送用スワブキット・ウイルス不活化 保存/輸送用試薬・唾液採取キット ITM 付き

3. 組成及び成分情報

化学名	CAS* 番号	濃度	分類
水(Water)	7732-18-5	89 重量%	危険有害性なし
トライトン X-100(Triton X-100)	9002-93-1	5 重量%	分類できない
グアニジンチオシアナート (Guanidine thiocyanate)	593-84-0	5 重量%	急性毒性(経口) 危険有害性区分:4、 H302:飲み込むと有害 急性毒性(経皮) 危険有害性区分:4、 H312:皮膚に接触すると有害 急性毒性(吸入) 危険有害性区分:4、 H332:吸入すると有害 皮膚腐食性/刺激性 危険有害性区分:1C、 H314:重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 危険有害性区分:1、 H318:重篤な眼の損傷 長期間(慢性)水生環境有害性 危険有害性区分:3、 H412:期継続的影響により水生生物に有害
トリス(ヒドロキシメチル)アミノメタン (Tris)	77-86-1	1 重量%	分類できない

4. 応急措置

4.1 応急措置

一般的アドバイス	危険な場所から離れること。
	医師に連絡すること。
	この SDS を医師に提示すること。
	負傷者を放置しないこと。
暴露経路ごとの応急処置	
吸入した場合	直ちに医師に連絡すること。
	負傷者を空気の新鮮な場所に移すこと。
	意識がない場合は、回復体位に置き、医師の診察/手当てを受けさせること。
	呼吸していない場合は、人工呼吸を行うこと。
	不快感がある場合は、医師の診察を受けること。
皮膚に付着した場合	皮膚や髪の毛に付着した場合:汚染された衣服を脱ぎ、水道水で皮膚や髪の毛を洗い流すこと。
	腫れ、発赤、水疱、または炎症がある場合は、医師の診察を受けること。
	直ちに医師の診察を受けること。
	石鹼と大量の水で少なくとも15分間洗い流すこと。
	不快感がある場合は、医師の診察を受けること。

安全データシート(SDS 番号:SDSHB0001)

輸送用スワブキット・ウイルス不活化 保存/輸送用試薬・唾液採取キット ITM 付き

眼に入った場合	眼に入った場合:水でよく洗い流し、医師の診察を受けること。
	病院に搬送している間も眼を洗い続けること。
	コンタクトレンズを取り外すこと。
	怪我をしないように眼を保護すること。
	すすぐ時は、まぶたを大きく開けること。
	それでも目の炎症がある場合は、専門家に相談すること。
	気道を開いた状態に維持すること。
	眼を水で 15 分間完全に洗い流すこと。
	最初の 1~2 分後にコンタクトレンズを取り外し、洗い続けること。
	不快感がある場合は、医師の診察を受けること。
飲み込んだ場合	医師の指示なしに無理に吐かせないこと。
	牛乳やアルコール飲料を与えないこと。
	意識不明の人に口から何も与えないこと。
	負傷者を直ちに病院に運ぶこと。
	口を水ですすぐこと。
	不快感がある場合は、医師の診察を受けること。

4.2 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

急性症状	データなし
遅発性症状	データなし

4.3 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な処置の指示

最も重要な兆候及び症状	データなし
応急措置をする者の保護	データなし
医師に対する特別な注意事項	データなし
特定の解毒剤	データなし
禁忌	データなし

5. 火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤	水噴霧による消火、耐アルコール性泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素消火剤を使用すること。
不適切な消火剤	データなし

5.2 化学物質等から生じる特有の危険有害性

火災時に生じる危険有害性	データなし
--------------	-------

5.3 消防士への助言

消防士のための特別な保護具	必要に応じて、消火用の自給式空気呼吸器を着用すること。
さらに詳しい情報	汚染された消火水は別に収集すること。
	これを下水溝に排出しないこと。
	火災残留物および汚染された消火水は、地域の規制に従って処分すること。
	火災時の安全上の理由から、缶は密閉された容器に別々に保管する必要がある。 水噴霧を使用して、完全に密閉された容器を冷却すること。

安全データシート(SDS 番号:SDSHB0001)

輸送用スワブキット・ウイルス不活化 保存/輸送用試薬・唾液採取キット ITM 付き

6. 漏出時の措置

6.1 個人的な予防措置、保護具及び緊急時措置

個人的な予防措置	第 7 項及び第 8 項に記載した保護措置を参照すること。
	蒸気が蓄積して爆発濃度を形成することに注意すること。
	蒸気は低い場所に蓄積する可能性がある。
保護具	個人用保護具を使用すること。
緊急時措置	適切な換気を確保すること。
	発火源をすべて取り除くこと。
	安全な場所に人員を避難させること。

6.2 環境に対する注意事項

環境に対する注意事項	製品を下水溝へ流入させないこと。
	安全に行える場合は、さらなる放出や漏出を防ぐこと。
	下水道や水路に汚染が生じた場合には、地方自治体に報告すること。

6.3 封じ込めと流出物洗浄の方法及び用具

大量の漏れの場合	砂や土などの不活性吸収剤を使用して漏出物を吸収すること。
	漏出した製品を収集し、それを密封可能な空容器またはバケツに回収すること。
	汚染された区域と施設を多量の水と洗剤で洗浄すること。
少量の漏れの場合	砂や土などの吸収剤を使用して漏出物を吸収すること。
	漏出した製品を収集し、それを密封可能な空容器に回収すること。
	汚染された区域と施設を水と洗剤で洗浄すること。

6.4 他の項目への参照

【13. 廃棄上の注意】に記載されている様に回収された材料を扱うこと。

7. 取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための予防措置

安全な取扱い	エアロゾルの形成を避けること。
	蒸気/ほこりを吸わないこと。
	接触を避けること - 使用前に特別な取扱い方法を取得すること。
	皮膚や眼との接触を避けること。
	個人保護については第 8 項を参照すること。
	使用中は、喫煙、飲食、飲用区域への出入りを禁止する必要がある。
	静電気放電を防ぐために注意を払うこと。
	実験室/検査室内は、適切な吸排気を提供すること。
	地域及び国内規制に従ってすすぎ水を処分すること。
	漏出を防止するために、適切な液体保持システムを構築すること。

7.2 混触危険性を含む安全な保管条件

安全な保管条件	直射日光を避け、乾燥した、清潔で涼しく、換気の整った場所で保管すること。
	元のラベル付き容器に保管し、使用していない時は容器を密封しておくこと。
	容器を、酸化剤、アルカリ、食品から離して正立させて保管すること。
	液漏れが無いが定期的に確認すること。

安全データシート(SDS 番号:SDSHB0001)
輸送用スワブキット・ウイルス不活化 保存/輸送用試薬・唾液採取キット ITM 付き

8. 暴露制御及び人に対する保護措置

8.1 職業暴露限界

この製品には、組成成分に特定の職業暴露限界は報告されていない。

8.2 生物学的職業暴露限界

この製品には、組成成分に特定の職業暴露限界は報告されていない。

8.3 工学的管理

換気の良い場所でのみ使用すること。
 使用しない時は、容器を密封しておくこと。

8.4 個人用保護衣などの個人保護措置

呼吸器の保護	蒸気が発生する場合は、認定済みのフィルターを備えた適切な呼吸用保護具を着用すること。
眼/顔面の保護	純水入りの洗眼ボトルを用意すること。
	密着性の高い安全ゴーグルを着用すること。
	工程上の問題で異常が発生した時には、フェイスシールドと防護服を着用すること。
皮膚及び身体の保護	不浸透性の保護衣を着用すること。
	作業場での危険物質の量と濃度に応じて、適切な身体保護具を選択すること。
手の保護	保護手袋を着用すること。
	特定の場所では特定の保護手袋を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

9.1 物理的及び化学的性質の情報

外観(物理的状態)	液体
色	無色
臭い	無臭
融点/凝固点(軟化温度/範囲)	データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	データなし
可燃性(液体)	データなし
爆発範囲の上限/可燃上限値	データなし
爆発範囲の下限/可燃下限値	データなし
引火点	データなし
蒸発速度	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度	データなし
自然発火温度	データなし
分解温度	データなし
pH	6.0
粘度(粘性率)	データなし
動粘度	データなし
溶解度(水溶性)	水和性
溶解度(溶媒に対する溶解性)	データなし
n-オクタノール/水分配係数(log 値)	データなし
比重(密度)	データなし
相対ガス密度	データなし
酸化特性	データなし
粒子特性	データなし

9.2 その他の情報 : データなし

安全データシート(SDS 番号:SDSHB0001)

輸送用スワブキット・ウイルス不活化 保存/輸送用試薬・唾液採取キット ITM 付き

10. 安定性及び反応性

- 10.1 化学的安定性
推奨保管条件下では安定している。
- 10.2 危険有害反応の可能性
通常の使用条件で保管及び取り扱う場合、危険な反応は報告されていない。
- 10.3 避けるべき条件
極端な高温や直射日光を避けること。
混触危険物質/混触禁止物質との接触を避けること。
- 10.4 混触危険物質/混触禁止物質
酸化剤とアルカリ
- 10.5 危険有害性のある分解生成物
炭素及び窒素の酸化物、煙及びその他の有毒ガス

11. 有害性情報

11.1 有害性情報

急性毒性	グアニジンチオシアナート (Guanidine thiocyanate)	
	暴露経路:経口 LD ₅₀ * (ラット) 急性毒性推定値:593mg/kg 体重	OECD*ガイドライン 401 (急性経口毒性試験)
	暴露経路:経皮 LD ₅₀ * (ウサギ) 急性毒性推定値:>2000mg/kg 体重	健康影響試験ガイドライン
	暴露経路:吸入 LC ₅₀ * (ラット) 急性毒性推定値:>0.853mg/L	OECD*ガイドライン 403 (急性吸入毒性試験)
	トライトン X-100 (Triton X-100)	
	暴露経路:データなし	急性毒性推定値:データなし
	トリス(ヒドロキシメチル)アミノメタン (Tris)	
	暴露経路:経口 LD ₅₀ * (ラット) 急性毒性推定値:>5000mg/kg 体重	OECD*ガイドライン 425 (急性経口毒性試験上げ下げ法)
皮膚腐食性/刺激性	暴露経路:経皮 LD ₅₀ * (ラット) 急性毒性推定値:>5000mg/kg 体重	OECD*ガイドライン 402 (急性経皮毒性試験)
	グアニジンチオシアナート (Guanidine thiocyanate)	
	GHS*分類 危険有害性区分:1C	H314:重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
	トリス(ヒドロキシメチル)アミノメタン (Tris)	
眼に対する重篤な損傷性/ 眼刺激性	GHS*分類 危険有害性区分:分類対象外	刺激性なし OECD*ガイドライン 404 (急性皮膚刺激性/腐食性試験)
	グアニジンチオシアナート (Guanidine thiocyanate)	
	GHS*分類 危険有害性区分:1	H318::重篤な眼の損傷 OECD*ガイドライン 405 (急性眼刺激性/腐食性試験)
	トリス(ヒドロキシメチル)アミノメタン (Tris)	
呼吸器感受性又は皮膚感受性	GHS*分類 危険有害性区分:分類対象外	刺激性なし OECD*ガイドライン 405 (急性眼刺激性/腐食性試験)
	グアニジンチオシアナート (Guanidine thiocyanate)	
	GHS*分類 危険有害性区分:分類対象外	皮膚に敏感ではない OECD*ガイドライン 429 (皮膚感作:局所リンパ節試験)
生殖細胞変異原性	グアニジンチオシアナート (Guanidine thiocyanate)	
	GHS*分類 危険有害性区分:分類対象外	陰性 OECD*ガイドライン 476 (哺乳類細胞の <i>in vitro</i> 遺伝子突然変異試験)

安全データシート(SDS 番号:SDSHB0001)

輸送用スワブキット・ウイルス不活化 保存/輸送用試薬・唾液採取キット ITM 付き

発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性(単回暴露)	データなし
特定標的臓器毒性(反復暴露)	データなし
吸引性呼吸器有害性	データなし

11.2 その他の情報 : 特になし

12. 環境影響情報

12.1 生態毒性

短期間(急性)水生有害性

グアニジンチオシアナート (Guanidine thiocyanate)	OECD*テストガイドライン 203(魚類急性毒性試験) 暴露時間 96 時間の LC ₅₀ * (グッピー/魚類に対する): 89.1mg/L
	OECD*テストガイドライン 202(ミジンコ属急性遊泳阻害試験) 暴露時間 48 時間 EC ₅₀ /LC ₅₀ * (オオミジンコ/甲殻類に対する): 42.4mg/L
	DIN 38412-33 暴露時間 72 時間 EC ₅₀ * (デスマデスムス/藻類に対する): 130mg/L
トライトン X-100 (Triton X-100)	データなし
トリス(ヒドロキシメチル)アミノメタン (Tris)	OECD*テストガイドライン 202(ミジンコ属急性遊泳阻害試験) 暴露時間 48 時間 EC ₅₀ /LC ₅₀ * (オオミジンコ/甲殻類に対する): 980mg/L
	OECD*テストガイドライン 201(藻類生長阻害試験) 暴露時間 72 時間の EC ₅₀ * (プセウドキルクネリエラ/藻類に対する): 397mg/L

長期間(慢性)水生有害性: データなし

12.2 残留性と分解性

急速分解性	グアニジンチオシアナート(Guanidine thiocyanate)
	OECD*テストガイドライン 302B(Zahn-Wellens/EVPA 試験) 生分解性: 本質的に生分解性で、特定の基準を満たしている。
	OECD*テストガイドライン 301(A-F)(易生分解性試験/淡水系) 生分解性: データなし
	OECD*テストガイドライン 306(易生分解性試験/海水系) 生分解性: データなし

12.3 生物蓄積性

生物蓄積性	OECD*テストガイドライン 305(魚類での生物蓄積性: 水暴露法及び餌料投与法) BCF(Bioconcentration Factor: 生物濃縮係数/水): データなし BMF(Biomagnification Factor: 生物濃縮係数/餌): データなし BAF(Bioaccumulation Factor: 生物濃縮係数・水及び餌): データなし
	OECD*テストガイドライン 107(オクタノール/水分配係数測定試験: フラスコ振盪法) log Kow 又は log Pow(Pow*/Kow*測定試験): データなし
	OECD*テストガイドライン 117(オクタノール/水分配係数測定試験: HPLC 法) log Kow 又は log Pow(Pow*/Kow*測定試験): データなし
	OECD*テストガイドライン 123(オクタノール/水分配係数測定試験: 緩慢攪拌法) log Kow 又は log Pow(Pow*/Kow*測定試験): データなし

12.4 土壌中の移動性

吸着試験	データなし
浸出試験	データなし
Log Koc(土壌吸着係数)	データなし

12.5 その他の有害影響

オゾン層への有害性	データなし
内分泌かく乱の可能性	データなし

安全データシート(SDS 番号:SDSHB0001)

輸送用スワブキット・ウイルス不活化 保存/輸送用試薬・唾液採取キット ITM 付き

13. 廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法

製品及び残余廃棄物	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
	都道府県知事などの許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者、または地方公共団体が廃棄物処理を行っている場合には、そこに委託して処理すること。
	廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託すること。
	環境への放出を避けること。
	製品は、排水溝、水路、池、土壌に入らないようにすること。
	化学薬品または使用済みの容器で汚染しないこと。
汚染容器及び包装	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行うこと。
	空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。
	完全に空でない場合は、製品入り容器と同様に処分すること。

14. 輸送上の注意

14.1 国際輸送規制

海上規制情報(IMO*/IMDG*)、航空規制情報(ICAO*/IATA DGR*)、陸上規制情報(ADR*、DOT*等)の規定に従うこと。	
国連番号 (UN Number)	1760
国連出荷正式名(国連出荷名) (UN Proper Shipping Name)	腐食性液体、n.o.s.
国連分類 (輸送時の危険有害性クラス) (UN Transport Hazard Class)	クラス 8 腐食性物質
容器等級 (Packing Group)	III
海洋汚染物質 (Marine Pollutant)	非該当

14.2 国内規制

海上規制情報	船舶安全法の規定に従うこと。
航空規制情報	航空法の規定に従うこと。
陸上規制情報	毒物及び劇物取締法、消防法、高圧ガス保安法、道路法の規定に従うこと。

14.3 MARPOL 73/78* 付属書 II 及び IBC Code*によるバラ積み輸送される液体物質
製品には該当しない。

15. 適用法令

化学物質名:水(Water、CAS*:7732-18-5、濃度:89%)

化審法	非該当
労働安全衛生法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
消防法	非該当
高圧ガス保安法	非該当
水銀汚染防止法	非該当
船舶安全法	非該当
航空法	非該当
水質汚濁防止法	非該当
下水道法	非該当
大気汚染防止法	非該当
海洋汚染防止法	有害でない物質

安全データシート(SDS 番号:SDSHB0001)

輸送用スワブキット・ウイルス不活化 保存/輸送用試薬・唾液採取キット ITM 付き

悪臭防止法	非該当
土壌汚染対策法	非該当
ダイオキシン類対策特別措置法	非該当
オゾン層保護法	非該当
廃掃法 (廃棄物の処理及び清掃に関する法律)	産業廃棄物
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法)	非該当
化学兵器禁止法	非該当
食品衛生法	非該当
麻薬及び向精神薬取締法	非該当
カルタヘナ法	非該当

化学物質名:トライトン X-100(Triton X-100、CAS*:9002-93-1、濃度:5%)

化審法	非該当
労働安全衛生法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
消防法	第4類引火性液体、第三石油類水溶性液体 (ただし、可燃性液体量が 40%以下のため適用除外)
高圧ガス保安法	非該当
水銀汚染防止法	非該当
船舶安全法	非該当
航空法	非該当
水質汚濁防止法	非該当
下水道法	非該当
大気汚染防止法	非該当
海洋汚染防止法	非該当
悪臭防止法	非該当
土壌汚染対策法	非該当
ダイオキシン類対策特別措置法	非該当
オゾン層保護法	非該当
廃掃法 (廃棄物の処理及び清掃に関する法律)	産業廃棄物
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法)	第1種指定化学物質 (1 重量%以上のため該当)
化学兵器禁止法	非該当
食品衛生法	非該当
麻薬及び向精神薬取締法	非該当
カルタヘナ法	非該当

化学物質名:グアニジンチオシアナート(Guanidine Thiocyanate、CAS*:593-84-0、濃度:5%)

化審法	非該当
労働安全衛生法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
消防法	非該当
高圧ガス保安法	非該当
水銀汚染防止法	非該当
船舶安全法	非該当
航空法	非該当
水質汚濁防止法	非該当
下水道法	非該当
大気汚染防止法	非該当
海洋汚染防止法	非該当

安全データシート(SDS 番号:SDSHB0001)

輸送用スワブキット・ウイルス不活化 保存/輸送用試薬・唾液採取キット ITM 付き

悪臭防止法	非該当
土壌汚染対策法	非該当
ダイオキシン類対策特別措置法	非該当
オゾン層保護法	非該当
廃掃法 (廃棄物の処理及び清掃に関する法律)	産業廃棄物
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法)	非該当
化学兵器禁止法	非該当
食品衛生法	非該当
麻薬及び向精神薬取締法	非該当
カルタヘナ法	非該当

化学物質名:トリス(ヒドロキシメチル)アミノメタン(Tris、CAS*:77-86-1、濃度:1%)

化審法	非該当
労働安全衛生法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
消防法	非該当
高圧ガス保安法	非該当
水銀汚染防止法	非該当
船舶安全法	非該当
航空法	非該当
水質汚濁防止法	非該当
下水道法	非該当
大気汚染防止法	非該当
海洋汚染防止法	非該当
悪臭防止法	非該当
土壌汚染対策法	非該当
ダイオキシン類対策特別措置法	非該当
オゾン層保護法	非該当
廃掃法 (廃棄物の処理及び清掃に関する法律)	産業廃棄物
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法)	非該当
化学兵器禁止法	非該当
食品衛生法	非該当
麻薬及び向精神薬取締法	非該当
カルタヘナ法	非該当

16. その他の情報

弊社が販売する試薬類は、試験研究用途向けに限定して販売しております。製品を取り扱う前に取扱説明書等を熟読し、専門知識のある技術者、研究者がご使用ください。本 SDS 情報は、徹底的な調査及び/または研究によって得られたものであり、推奨は専門的判断の慎重な適用に基づいています。また包括的とみなされるものではなく、ガイドとしてのみ使用されるべきものです。全ての物質及び混合物には、未知の危険性があるため注意して使用する必要があります。当社では、実際の方法、量、使用条件等を管理することができないため、本書に記載されている取扱いまたは製品との接触に起因する損害賠償責任は一切負いません。本 SDS の情報は、市場性や特定目的適合性の黙示の保証を含め、明示的にも黙示的にもいかなる保証をするものではなく、また品質を特定するものでもありません。

安全データシート(SDS 番号:SDSHB0001)

輸送用スワブキット・ウイルス不活化 保存/輸送用試薬・唾液採取キット ITM 付き

略語

- ADR(European Agreement Concerning the International Carriage of Dangerous Goods by Road): 欧州危険物国際道路輸送協定
- BOD(Biochemical Oxygen Demand): 生物化学的酸素要求量
- CAS(Cheical Abstract Service): ケミカル・アブストラクト・サービス
- COD(Cheical Oxygen Demand): 化学的酸素要求量
- DOT(United States Department of Transportation): 米国運輸省
- EC₅₀(Median/50% Effective Concentration): 半数(50%)影響濃度(水生毒性)
- GHS(The Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals): 化学品の分類及び表示に関する世界調和システム
- IATA DGR(International Air Transport Association's Dangerous Goods Regulations): 国際航空運送協会危険物規則書
- IBC Code(International Code for the Construction and Equipment of Ships Carrying Danderous Chemicals in Bulk): 危険化学品のバラ積み運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則
- ICAO(International Civil Aviation Organization): 国際民間航空機関
- IMO(International Maritime Organization): 国際海事機構
- IMDG Code(International Maritime Code for Dangerous Goods): 国際海上危険物規定で定めたコード
- Kow 又は、Pow(octanol/water partition coefficient): オクタノール/水分配係数
- LC₅₀(Median/50% Lethal Concentration): 半数(50%)致死濃度
- LD₅₀(Median/50% Lethal Dose): 半数(50%)致死量
- MARPOL(International Convention for the Prevention of Pollution from Ships) 73/78: 1973年の船舶による汚染の防止のための国際条約に関する1978の議定書
- OECD(Organisation for Economic Cooperation and Development): 経済協力開発機構

引用文献及び参照ホームページ等

化学物質規制・管理実務便覧(化学物質管理実務研究会編集、新日本法規出版株式会社出版)

NITE 化学物質総合情報提供システム(独立行政法人 製品評価技術基盤機構)

https://www.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/srhInput

職場の安全サイト(厚生労働省)

http://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/GHS_MSD_FND.aspx

ezCRIC(日本ケミカルデータベース株式会社)

以上